

令和7年度 第4回 浜松市立北浜小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年2月18日（水）14時30分から16時00分まで
- 2 開催場所 浜松市立北浜小学校 会議室
- 3 出席委員 熊谷 三郎、鈴木 澄子、白井 一光、齋藤 千朝、田原 さやか
鈴木 崇之
- 4 オブザーバー 松野 聖（北浜南部協働センター）
鈴木 隆幸（健全育成会副会長）
高林 未央（元PTA副会長）
- 5 学 校 伊藤 公美子（校長）、定盛 俊孝（教頭）、常名 剛司（教務主任）
古橋 佳代（CSディレクター）
- 6 傍 聴 者 菰田 勇、佐原 正敏（地域住民：よこすか歌おう会）
- 7 会議録作成者 CSディレクター 古橋 佳代

8 議長の選出

司会者の教頭より、議長の選出について委員に意見を求めたところ、本日は齋藤委員が務める旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

9 協議事項

- (1) 学校関係者評価
- (2) 令和8年度学校運営の基本方針について
- (3) 令和8年度の教育活動について
- (4) 学校運営協議会の自己評価

10 会議記録

司会者より委員総数6人のうち6人出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

- (1) 学校関係者評価（学校評価の自己評価について・いじめ防止等のための基本的な方針について）

議長の指示により、教務主任から学校評価の自己評価について別紙資料に基づき報告があり、委員からは以下の発言があった。

- ・タブレット持ち帰りについて有効活用度の精査が必要。持ち帰り不要希望の事例も聞いている。依存懸念時の相談窓口の情報共有を今後考えたほうがよい。（齋藤委員）

- ・使用傾向は児童により差がある。家庭ルール化（時間割確認、充電、タイピング練習、終了時間設定）が有効ではないか。学校での使用指導内容の共有があると家庭でも親が子供に対して指導しやすくなるので要望したい。（田原委員）
- ・横断歩道での自転車扱いについて学校への負担になるようではいけないが、押し歩きルールの周知・指導機会の設定が望ましい。（熊谷委員）
- ・報告された接触事故は放課後の自転車走行時で登下校中ではない。ヘルメットの着用、集団登校など引き続き通学時の安全対策を行っていく。（教務主任）

議長の教頭から「いじめ防止等のための基本的な方針について」別紙資料に基づき説明があり、委員からは以下の発言などあった。

- ・地域は日常の子供の姿を把握しにくく、担任・学校の役割が大きい。（熊谷委員）
- ・地域の役割・家庭の役割を明記し、通報手順を早期発見・連携強化の文言を反映することまた、言葉の影響への気付きを促す指導の必要性が共有された。（委員一同）

（２）令和８年度学校経営の基本方針について

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・校章にちなんだ北斗七星が令和８年度グランドデザインにおいて、星が７つ表示されている。みんなで一緒に輝こうという主旨に共感した。（鈴木澄子委員）
- ・先人の想いを後世につなげる子供たちを学校・地域・家庭それぞれの立場で見守ることが重要だと改めて共有できた。（委員一同）
- ・昼休みの子供の見守り・関わり活動を検討していただくと大変助かる。（校長）

協議の結果、全員意義なくこれを仮承認した。

（３）令和８年度の教育活動について

教務主任から令和８年度の教育活動について報告があった。

来年度始業式４月８日（水）、入学式４月９日（木）。主要行事は本年度同時期で実施。３学期制だが成績は２学期制で評価する。

（４）学校運営協議会の自己評価について

① 学校運営の基本方針についての熟議

- ・校長からの経営方針やグランドデザイン（学校教育目標「ひとりとみんなで輝く子」など）の説明を通じ、学校の目標と課題を委員全員で共有できた。（熊谷委員）
- ・７月に教員から直接話を聴く機会を設けたことで、学校への理解が深まり、双方向の参画が一步前進したと評価されている。（齋藤委員）

- ・現状を振り返り、保護者や地域をどのように巻き込むかといった、具現化に向けた具体的な協議が深まった。(鈴木澄子委員)

② 学校支援の熟議

- ・学年主任が支援を求める学習内容について説明したことで、教員と協議会委員の意識が共通のものとなり、支援の方向性が明確化された。(鈴木澄子委員)
- ・支援活動の課題についての打ち合わせや、継続・拡大に向けた前向きな協議が行われ、ボランティア活動の内容の充実にも寄与した。(齋藤委員)
- ・委員の積極的な発言により、時間が不足するほど充実した熟議が行われた。(白井委員)

③ 協議結果の情報発信

- ・「コムスクだより」「学校だより」などのツールを活用した一定の情報発信は行われており、内容は充実しているとの認識がある。(田原委員)
- ・地域活動の細やかな内容までは十分に伝わりきれておらず、保護者や地域の関心・意識をさらに高めるための工夫が必要とされている。(鈴木崇之委員)

④ 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

- ・学校経営方針の具現化を目指し、地域全体で連携し、さらに安心できる居場所づくりを目指して、熟議をしていきたい。(熊谷委員)
- ・「子どもとおとながつながる学校」の経営方針は大きく一步を踏み出したように思う。引き続きこの目標を掲げて取り組むことでよりよい姿になっていくと思う。(鈴木澄子委員)
- ・令和8年度の目標は学校経営方針「子どもとおとながつながる学校」のさらなる具現化を図り、地域全体で連携を深めながら、子供にとってより安心できる居場所づくりを目指して引き続き活発な熟議を展開していくことを令和8年度の目標にしていくことを委員全員で共有した。(委員一同)

11 報告

- ・1年生「昔の遊び」学習に地域ボランティア多数参加、書き初め支援、5年生総合で調査学習支援。地域ボランティア参画が拡大し学習活動の幅が広がった。
- ・夢育やまらいかCS加算分の執行報告。提案に沿った支出を実施。
- ・令和8年度学校運営協議会委員体制移行方針を共有。(正式就任は今後)

12 その他連絡事項

司会から次回会議は令和8年4月27日(月)1年生を迎える会の参観後、会議室で開催する旨の報告があった。